

(1面より)

この記念すべき節目を新たな契機として、官民が一体となつて、人と人をつなぐ草の根の交流を進めるることにより、本市と洛陽市、また、日中両国の友好が一層深まる年になることを期待しております。

迎えました新年は、後ろを振り返らず前へと進む馬のイ

子育て・教育や健康・福祉の充実、国際交流、防災対策などの施策を、より力強く推し

中華人民共和国
駐大阪総領事

薛劍

中日友好の民意の土壤を育もう



懇談する妙通師(中央)と龍門住職(左)

洛陽・白馬寺を訪ねて

45年の交流の歴史を繋ぐ

長泉寺住職 宮本龍門

中国駐大阪総領事館を代表し、謹んで皆様に新年のご挨拶を申し上げます。昨年は戦後80周年であり、中日双方が共に歴史を振り返り、平和友好を推進する重要な節目でありました。

2026年新年にあたり、中国歴史講座や中日学生交流など様々なイベントを開催してこられました。特に、貴会が戦後80周年にあたり組織された、会員によるハルピンの侵華日軍第七三一部隊罪証陳列館への訪問、更に帰国後も積極的に関西私たち長

訪問でした。今回の一番の目的は、45年は、10月16日から6日間の日程で、中国・洛陽市を訪れて、日中仏教文化交流を行ってまいりました。一行は、私たちは檀信徒や他寺院住職2名が加わり総勢18人での

泉寺杖心会は、10月16日から6日間の日程で、中国・洛陽市を訪れて、日中仏教文化交流を行ってまいりました。貴賓室でのレセプションで、私は、日中それぞれの仏教トータクに花が咲くとともに、白馬寺様と長泉寺との友好交流の歴史や意義についても共有す

りました。は、日本少林寺の兼務住職となられたばかりの印樂方丈様はご不在で、代務の妙通師が我々一行をお出迎え下さいました。

この度は嵩山少林寺の印樂方丈様はご不在で、代務の妙通師が我々一行をお出迎え下さいました。熊野筆をお土産として奉納し、白馬寺様からは陶器の白馬像と、同寺創建に関わる『仏説四十二章經』の立派な拓本を頂戴しました。

その後、妙通師と一緒に大佛殿で般若心経を奉唱し、広い境内を参拝。さらにはおもてなしの精進料理と共に開かれた。森田潔氏(岡山大学名誉教授)が開会挨拶。郭沫若の孫にあたる藤田梨那国士館大学教授、名和悦子氏(日本郭沫若学会会員)、遊佐徹岡山大学教授が研究報告をした。

会場には、研究会の会員や研究者らが参加した。



ご挨拶

中華人民共和国
駐大阪総領事

薛劍

中日友好の民意の土壤を育もう

2026年新年にあたり、中国駐大阪総領事館を代表し、謹んで皆様に新年のご挨拶を申し上げます。昨年は戦後80周年であり、中日双方が共に歴史を振り返り、平和友好を推進する重要な節目でありました。

この一年、岡山市日中友好協会は、土井章弘会長のご指導のもと、中日友好交流を熱心に展開、会員の洛陽・上海・深圳などへの訪問を組織し、中国歴史講座や中日学生交流など様々なイベントを開催してこられました。

特に、貴会が戦後80周年にあたり組織された、会員によるハルピンの侵華日軍第七三一部隊罪証陳列館への訪問、更に帰国後も積極的に関西私たち長

訪問でした。今回の一番の目的は、45年は、10月16日から6日間の日程で、中国・洛陽市を訪れて、日中仏教文化交流を行ってまいりました。一行は、私たちは檀信徒や他寺院住職2名が加わり総勢18人での

泉寺杖心会は、10月16日から6日間の日程で、中国・洛陽市を訪れて、日中仏教文化交流を行ってまいりました。貴賓室でのレセプションで、私は、日中それぞれの仏教トータクに花が咲くとともに、白馬寺様と長泉寺との友好交流の歴史や意義についても共有す

りました。は、日本少林寺の印樂方丈様はご不在で、代務の妙通師が我々一行をお出迎え下さいました。

その後、妙通師と一緒に大佛殿で般若心経を奉唱し、広い境内を参拝。さらにはおもてなしの精進料理と共に開かれた。森田潔氏(岡山大学名誉教授)が開会挨拶。郭沫若の孫にあたる藤田梨那国士館大学教授、名和悦子氏(日本郭沫若学会会員)、遊佐徹岡山大学教授が研究報告をした。

会場には、研究会の会員や研究者らが参加した。

6月20日㈯

祝 あけましておめでとうございます

午 未来につながる“互助互愛”精神で

五十音順

祝

6月20日㈯

祝 あけましておめでとうございます

午 未来につな



開幕式のオープニング



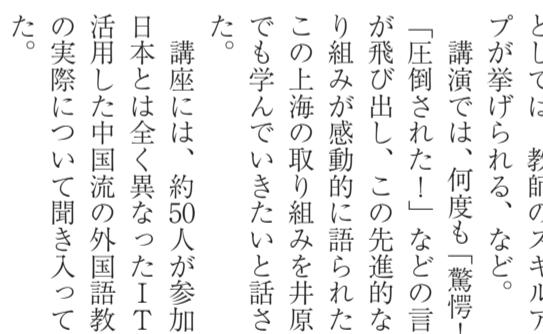
文化交流を紹介する写真展示



完造・みき夫妻が眠る「比翼塚」参拝



上海市虹口区外国語第一小学での懇談



上海市虹口区外語第一小学での懇談

上海魯迅記念館で盛大に開幕

内山完造翁の生誕140周年記念事業が、10月、岡山と上海でスタート。まず、翁の活躍した主舞台でもあった上海から、開幕式・展示会・シンポジウムで華々しく開幕した。しかし、その後の日中を取り巻く諸般の事情から岡山での開催は残念ながら当面、延期せざるを得なくなつた。今回は、上海で開幕した記念事業の盛り上がりぶりをご紹介します。

一連の記念事業は、岡山市となし、文化の交わりを期す中友好協会と上海市人民对外友好協会、虹口区人民政府の共催で行われた。全体のテーマは「書肆をもつて津梁相協力して、内山完造の生誕140周年を記念し、足跡を顯彰、翁の友好の理念を将来に伝えていこうと開かれた。

日本国在上海総領事も出席

開幕式は、19日、上海市の上海魯迅記念館で開かれた。式典には、上海市人民对外友好協会から陳靖会長、在上海市日本總領事館の岡田勝總領事、岡山市日中友好協会から土井章弘会長、それに内山好（片岡良仁）教育長と中日友好化協会会長らが出席。郷土出身の内山完造の功績を紹介した。

森川孝一教育長と片岡良仁文部科学省外事局長は、内山完造の生涯をたどりながら、貢献ぶりや、友好の理念、魯迅との交流などを紹介している。

魯迅らとの交流を紹介

展示会「内山完造と中日友好」展は、完造の生涯をたどりながら、貢献ぶりや、友好の理念、魯迅との交流などを紹介している。

森川氏は、10月18日から21日の日程で、「内山完造生誕140周年記念訪問団」に参加。19日の公式行事を終えた翌日の20日、上海市虹口区人民对外友好協会の案内により、外國語教育とICT教育のモデル校である虹口区外國語第一小学を視察訪問した。

上海・ICTモデル校視察

森川氏は、視察した同小学校（第4回）が、11月29日、岡山シティホテル桑田町会議室で開かれた。今回のテーマは「中国最新教育事情・上海市虹口区外国语第一小学を視察して」。講師は、井原市教育委員会、教育長の森川孝一氏。

森川氏は、10月18日から21日の日程で、「内山完造生誕140周年記念訪問団」に参加。19日の公式行事を終えた翌日の20日、上海市虹口区人民对外友好協会の案内により、外國語教育とICT教育のモデル校である虹口区外國語第一小学を視察訪問した。

研究者、専門家、関係者らが参加した。

参加者は、それぞれに基調を写真や資料で紹介していた。岡山側からも、資料が提供された。

学術シンポジウムには、上海側、岡山側双方から、学者・心に論じ交流していた。

内山完造翁の精神について熱い議論が交わされた。「内山精神」について熱い議論が交わされた。

内山完造翁の精神について熱い議論が交わされた。

内

